

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 24日

事業所名 児童発達支援事業所 ぽぷり西宮教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100	0		
	2 職員の配置数は適切である	87.5	12.5		配置数は適切ですが、より多くの利用者様に支援を提供できるように、今後まだセラピスト人員が必要に感じております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	87.5	12.5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100	0	毎日清掃を行い、清潔を保っています。またお子さんの特性によって部屋のレイアウトを変えたり、おもちゃを準備して、1人1人が集中してセラピーに取り組める環境を整えています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100	0	毎朝のミーティングや、定期的なスタッフミーティングを通して、スタッフ全員が情報共有し、問題解決のための相談をする機会を設け、改善のために工夫・努力しています。また、日々の療育内容をスタッフ同士で相談しながら取り組めるように、皆で話し合える雰囲気作りを心がけています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100	0		開所して1年経過し今回初めて保護者の皆様に評価にご協力いただきました。今後、保護者の皆様のご意見を参考に業務改善に繋げていきたいと思っております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	87.5	12.5		今回の結果ホームページに公開する予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12.5	87.5		第三者評価については今後検討致します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100	0	セラピスト勉強会を定期的に関催し、セラピストとしての知識、技術の向上の機会を設けています。また、外部の研修への参加を希望する職員には参加no機会を与えています。	今後研修の一環として、セラピーの様子を録画し自身またはSVと振り返り個々のセラピーし改善すべきことがないかを検討する機会も設けていきます。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100	0	個別支援計画作成前には必ず面談を行い、保護者様のニーズを把握した上で、児発管、担当セラピスト、SVが会議を行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	87.5	12.5	全セラピストがつみきBOOKをセラピーの指針として利用しております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	87.5	12.5	担当セラピストが他のセラピストや児発管、SVの意見も取り入れながらチームでプログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	50	50		来年度より小集団プログラムを実施するため、集団活動も支援計画に組み込んでいきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	87.5	12.5	毎朝ミーティングを行い、その日の利用者様、担当セラピストの確認を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	87.5	12.5	複数のセラピストで対応しているお子様に関しては、支援終了後の振り返りや次回の取り組みについて引き継ぎをその都度行っております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100	0	全ての利用者様のセラピーの内容を毎回記録し、それを元に次の支援をプランしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	87.5	12.5	児発管や管理者、担当セラピストなど、そのお子様の様子を良く理解できているスタッフが参加するようにしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	87.5	12.5	保護者様から依頼があった場合は必要な関係機関と連携をとっております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象児なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象児なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	62.5	37.5		これまで対象児がいませんでしたが、今後行う予定です。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50	50		これまで対象児がいませんでしたが、今後は小学校との連携をとって行く予定です。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75	25		今後も研修に参加していきたいと思っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12.5	87.5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12.5	87.5	会議に参加する機会はありませんでしたが、アンケートなどの回答を行ったりすることで関わっております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
連携	30	100	0	ご利用時に家庭での様子を伺い、セラピー終了後には必ず保護者様にその日の振り返りをお伝えしたり、質問やご相談にお応えする時間を設けています。	
	31	50	50	ご利用時に個別にご相談いただき対応をアドバイスする形で支援させていただいています。実際に保護者様にセラピーのやり方やお子様への対応を実践的にトレーニングすることもあります。	今後は個別だけでなく、保護者様向けの講習会などを企画し支援を行っていきたくと思っています。
保護者への説明責任等	32	100	0		
	33	100	0		
	34	100	0		
	35	12.5	87.5		
	36	100	0	相談申入れがあった際には、お電話で対応したり、面談日を設けるなどして、迅速に対応するように心がけています。	
	37	50	50	会報はありませんが、LINE公式アカウントやその他のSNSを通じて活動を発信しています。	
	38	100	0		
	39	100	0		
40	12.5	87.5		初年度である今年は行事を行うことがありませんでしたが、今後地域の皆様と交流する機会を考えていきたいです。	
非常時等の	41	100	0		マニュアルがあることやその内容を保護者の皆様に周知していなかったため、今後お伝えしていきます。
	42	100	0		初年度はスタッフのみで避難訓練を4回実施して避難プランを詰めました。来年度からは利用者様にも参加していただく予定です。
	43	100	0	利用開始時にアセスメントシートにご記入いただきスタッフで共有しております。	
	44	50	50	利用開始時に食物アレルギーの有無を確認し、食べ物が必要な場合は保護者様にご用意させていただいております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100	0	虐待防止マニュアルを作成し、新人スタッフは入社時に、その後全スタッフに対して虐待防止研修を実施しています。虐待防止委員会には外部委員にも参加していただき、虐待防止の対策や現状の振り返りを継続的に行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	75	25	身体拘束についての方針を文書でまとめ、周知・研修を行っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。